

① 実態把握シート

F 班

学校の課題

意欲

1/4

④ 自律性・自覚性

意欲 低い
モチベーション低い

個人差が入り
要支援
基礎的な
読みにミス

意欲
モチベーション
低い

④ 学習意欲低い

④ 聴く力、意識

読ん能力 ×

言語

④ 言葉
関連づけて

比べて
読ん 書く

④ 活用

理由 - 記述

言語知識 ×

④ 話し合い
④ 言語活動
④ 表現力

④ 理由

④ 理由

④ 筋道
④ 参考

④ 思考 記述 △

④ 記述 × 意見

④ 付いた内容の関係
つけ 書く ×

話し

おれ

授業構成

④ 話し合い活動

④ 考えを表現する
機会 △

④ 振り返り ☆

④ めあて ☆

教師主導

④ わかる理解

課題をまとめると
・学習意欲 ④ 学び合い 意欲 経験 ④ 全体 △
・言語活動 ④ 意識 意欲 → 理由 ④ 記述が弱い
・指導 改善すべき (めあて 振り返り 話し合い) ④ 先生のせい
有効ではない

研究主題
 かかわり合いから学び高め合う子

研究教科 小学校:国語・算数 中学校:全教科

目指す子供の姿
 ・友だちとかかわり合いながら
 学びを深める子

目指す授業像
 ・子どもたちが主体的に考えを
 交流し、学びの実感が
 持てる授業

研究の重点(柱) 2つ~3つ
 A 授業改善
 B 学級経営.
 C

A: 授業改善の視点(3つ程度)
 ① めざす授業像を、児童と教師が共有する。
 ② こまめな授業スタンダードの定着(特に「深める」と「まとめる」)
 ③

※以下は、上記の重点A:「授業改善の視点」の中から1つまたは2つ選び検討してください。

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て
 ①番
 ・シナリオ授業(全体での)
 ・児童どうしの授業参観(視点を決めて)
 ・他校の見本ビデオをみせる
 ・授業で大切にしたいこと、授業をつくるということを話し合う。

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て
 ②番
 ・話し合い(学び合い)の視点を、出す。与えて話し合わせる。
 「深める」 ・かかわり合う場を設定する。目的、必然性、時間の保障
 「まとめる」 ・「型」→から始める。ゆまびり
 ・教師のコーディネート。発問、問い返し。

③ 計画シート

F. 班

月	内容		
4月	研究方針の 提案	目指す授業像の 共通理解	学力調査の 自校採点
5月	講師招聘 = 提案授業		学力向上プラン の策定
6月			学力調査の 結果分析
7月	模擬授業	研究授業 *2	学力調査問題の 出題傾向の把握
8月	1学期の 検証	2学期の 計画	学力向上プラン の見直し
9月			
10月	要請訪問		
11月	模授	研授 *2	アンケート②
12月			
1月	検証		
2月	次年度の 計画		
3月			

アンケート①

授業交流①

講師招聘

授業交流②